



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 59

R2.10.27

今月のキーワード 【知識・技能】【思考・判断・表現】を評価するペーパーテスト例（中学校）

小学校に続き、来年度からは中学校においても新学習指導要領が実施となります。小学校からの接続を更に意識し、小・中学校で一貫した指導と評価ができるようお願いいたします。今回は、中学校における【知識・技能】【思考・判断・表現】を評価するペーパーテスト例について紹介します。

【知識・技能】を評価するペーパーテスト例

中学校『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（国研）に掲載されている事例をいくつか紹介します。

○主に「知識」を評価する問題

次の会話文を読んで、空欄に入る最も適切なものを選択肢の中から1つ選びなさい。

- A: Where is Mike?
 B: Over there. He () badminton with Yuki.
 A: I see. Thank you.

ア plays イ is playing ウ played



文法的には、ア～ウいずれも可能ですが、文脈から判断して、自然な流れになるのは一つに絞れますね。

※本問題の特徴（各学校が問題を作成する際に留意すること）

（P73より抜粋 赤字筆者）

文脈を伴う問題である。問うている箇所（He () badminton with Yuki.）だけに着目しても正解を導き出すことはできず、文脈から正解を判断できるか否かを問うている。（正答）イ is playing

このように、知識を活用できる程度まで理解しているかについて評価することが大切です。

○主に「技能」を評価する問題

あなたは、新聞記者です。店内にいるケン（Ken）が何をしているかについて説明する文を一文書きなさい。



問題文で「現在進行形を用いて書きなさい」と指示したり、例文（Ken is sitting.）を示したりはしていません。

※本問題の特徴（各学校が問題を作成する際に留意すること）

（P75より抜粋 赤字筆者）

・実際のコミュニケーションの場面を設定しつつ、特定の言語材料の使用（文の生成）を求める問題である。実際のコミュニケーションの場面をつくるとともに、問題文で「何をしているかについて説明する文を書きなさい」と指示することにより、現在進行形を使用する必然性をもたせている。

このように、特定の言語材料の使用を促した上で、場面に応じて当該言語材料を正しく使って文（短文）を書くことができるかが、「技能」の評価になります。【知識・技能】は一体的に評価しましょう。

なお、以下のような「文脈や使用場面が設定されていない例」については、教科部会等で見直しをお願いします。

(参考) 文脈や使用場面がない問題例

例1：以下の文から1カ所誤りを探して、現在進行形の文に訂正しなさい。

I'm just watch TV.

例2：以下の単語を並べ替えて正しい文を作りなさい。文頭に来る単語も小文字になっています。

(ア playing イ are ウ now エ we オ basketball)

【思考・判断・表現】を評価するペーパーテスト例



続いて、【思考・判断・表現】を評価する問題について確認しましょう。下の例は「聞くこと」に関する評価問題例ですが、【知識・理解】と同様、**文脈や場面設定**が大切です。(P67より抜粋)

- 1 あなたの学校では、今週の土曜日に英語のイベントに出かけます。当日に向けて担任の先生に確認しようと思っていたことを書き留めていた【メモ】を見ながら、あなたは担任の先生の指示を聞いています。聞いた後、あなたが担任の先生に確認する必要がある内容はアからエのどれですか。最も適切なものを一つ選びなさい。
- ※「必要な情報を聞き取ること」を評価する問題

【メモ】

- 集合時間
- 集合場所
- 終了時刻
- 持ち物



「聞くこと」では、**概要や要点を捉えること**も求められています。「読むこと」についても同様)

日々の授業において意図的に取り入れるとともに、**継続的な指導**をお願いします。

ア 集合時間 イ 集合場所 ウ 終了時刻 (正解) エ 持ち物

(スクリプト)

Please listen carefully. I will tell you about the English Camp at Sakura Hall this Saturday. It will start at 10 am, so please arrive there by 9:45. Remember to bring your handbook, a pencil, and an eraser. You will need your gym shoes, too. You don't have to bring lunch. You will be making curry and rice with your friends and the ALTs. Don't bring any snacks! Any questions?



質問文 (What do you need to bring? など) を聞いて答える形、つまり、キーワードを聞き取ることができれば解ける【知識・技能】の問題との違いに注意してください。**場面設定から必要な情報を判断し、聞き取ることが求められます。**

「話すこと」「書くこと」においても、【思考・判断・表現】を評価する問題は、**当該学期や単元で扱った言語材料を必ず使用しなければならないわけではありません。**一方、【知識・技能】を評価する問題は、特定の言語材料を使うこととなります。上記以外にも、多くの評価例が参考資料に掲載されていますので、ぜひ御一読ください。



12月以降、全ての小・中学校へ授業参観や研修としてお伺いする予定です。事前にお問い合わせなどありましたら、遠慮なく御連絡ください。



文責 学校教育課 稲葉亜希恵